

2017年(平成29年)3月19日(日曜日)

キャリア教育に評価

県内でキャリア教育支援事業を行う盛岡市のNPO法人未来図書館(古沢真作理事長)は、より良い子育て環境づくりに取り組む個人、団体を表彰する第10回未来を強くする子育てプロジェクト

盛岡・NPO 未来図書館

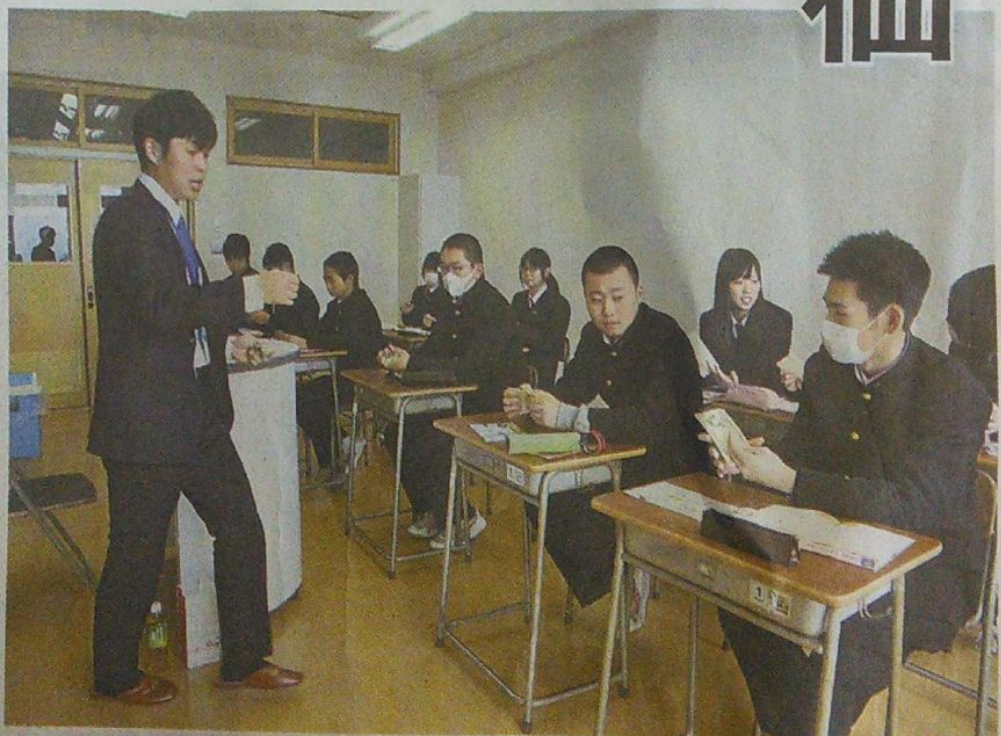
(住友生命保険主催)の「スミセイ未来賞」に選ばれた。地域の社会人を講師とし、子どもたちが生き方を考える場を提供し続けている点が評価された。関係者はキャリア教育の一層の推進、充実を誓う。

子育て支援活動「スミセイ未来賞」受賞

社会人と生き方思索

同法人は2004年に設立。小中高生が多様な生き方や仕事について社会人と共に考える「未来パスポート」、一つのテーマを語り合い、コミュニケーション力を育成する「かだる」の二つのプログラムを08年に始めた。

本年度までに「未来パスポート」は97回、「かだる」は20回開催。キャリア教育支援校は県内80校を超え、延べ約1万8千人の児童生徒が参加した。学校からの申し込みは年々増え、講師を派遣した協力企業からは「社員教育にもつながる」と好評だという。西プログラムの開始から10年という節目に受賞し、古沢理事長は「子ども、若者と社会をつなぐことを目標としている。ますます活動を充実さ



社会人が仕事のやりがいや仕組みを紹介する未来パスポート。花北青雲高では、信用金庫の職員が講師となり、生徒は模擬紙幣を使って仕事を体験した=2月15日

せていきたい」と決意を新たにする。

表彰式は6日に東京都内で行われ、同法人に賞状と副賞50万円が贈られた。同プロジェクトは、子育て

支援活動の表彰と女性研究者支援の2部門。第10回の「子育て」では190組の応募があり、未来大賞に2組、未来賞に同法人を含む10組、震災復興応援特別賞に3組が選ばれた。